

## 日本におけるザビエルの道のり

1549年	8月15日	鹿児島上陸	1
	9月29日	薩摩領主・島津貴久に謁見し、宣教許可を得る	
1550年	7月初旬	平戸へ旅行	1、2
	8月末	再び平戸へ向けて、鹿児島を出発	1
	9月	平戸到着。領主・松浦隆信に宣教許可を得る	2
	10月末	ミヤコを目指して、平戸を出発。徒歩で博多、黒崎を通過。関門海峡を渡って山口へ	2～6
	11月初旬	山口に到着。松平隆信に引見される	6
	12月17日	山口を出発。徒歩で高森、徳山、岩国まで行き、そこからは船に乗って瀬戸内海を渡る。宮島、尾道、多度津、牛窓、飾磨、室津、高砂浦、岩屋、兵庫などに立ち寄り、このほかにも寄港した島があると考えられる	6～18
	12月末	堺に到着。比叡山のふもと（坂本）の大学へ	19、20
1551年	1月初旬	ミヤコに到着。11日間の滞在	21
	1月中旬	鳥羽から淀川を渡って堺に向かい、堺を出発	21、20
	3月中旬	平戸に到着	2
	4月末	山口に到着。大内義隆に謁見、宣教許可を得る	6
	9月中旬	山口を出発し、5日後に府内に到着。豊後で領主・大友義鎮（宗麟）から宣教許可を得る	6、22
	11月15日	沖ノ浦（豊後沖）を出発し、インドへ	22

※一番右の列の数字は地図上の番号を示しています。

### 【参考文献】

『新カトリック大事典』上智大学編、研究社、1996～2010年

『聖フランシスコ・ザビエル全生涯』河野純徳著、平凡社、1988年

『東洋の使徒 聖フランシスコ・ザビエル』ホアン・カトレット著、金子桂子訳、新世社、1998年